

講師紹介



宮田 慶子

Keiko Miyata >> A・B

1957（昭和32）年生まれ。学習院大学中退後、青年座研究所を経て1980（昭和55）年劇団青年座（文芸部）入団。1983年青年座スタジオ公演『ひといきといき』の作・演出でデビュー。『ブンナよ、木からおりてこい』、『セイムタイム・ネクストイヤー』の演出で注目を浴びる。骨組みの確かな、きめ細かい演出は、数多い女性演出家の中でも群を抜いて評価が高い。劇団青年座公演ほか、松竹、新国立劇場、ホリプロ、ハルコ作品など、創作劇、翻訳劇、近代古典、ストレートプレイ、ミュージカル、商業演劇、小劇場と多方面にわたる作品を手がける。



古城 十忍

Toshinobu Kojo >> C

宮崎県生まれ。熊本大学法文学部卒。熊本日日新聞政治経済部記者を経て1986年、劇団一跡二跳を旗揚げ。今年7月、『流れる庭—あるいは方舟—』をもって一跡二跳解散（全60公演）。主な作品に『誰も見たことのない場所』『ハラサイト・ハラダイス』『奇妙旅行』など。現在、日本劇団協議会常務理事。なお、新しく結成したアーティスト・カンパニー「ガイアデイズファンクションバンド」のプロデュースによる『貴婦人の帰還』を10月に上演予定。



坂手 洋二

Yoji Sakate >> D-①②・G

劇作家・演出家。1983年燐光群旗揚げ、主宰。『神々の国の首都』『屋根裏』等でヨーロッパ・アメリカ公演を行う。岸田國士戯曲賞、鶴屋南北戯曲賞、読売文学賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞、二度に渡り読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞。今年2～3月にオーストラリア国立演劇学校（NIDA）に招かれ“THE ATTIC”（『屋根裏』）演出。今秋、燐光群公演『チェックポイント黒点鳥』書き下ろし・演出。日本劇作家協会会長。日本演出者協会理事。国際演劇協会日本支部理事。『だるまさんがころんだ』等、戯曲集多数。評論集に『私たちはこうして二十世紀を越えた』がある。



池内 美奈子

Minako Ikeuchi >> E

ヴォイス・ティーチャー。新国立劇場演劇研修所ヘッドコーチ。俳優指導者アソシエーション代表。2000年度文化庁派遣芸術家在外研修員として日本人としては初めてロンドンのセントラル校（Central School of Speech and Drama）のヴォイス・コースで学び、ヴォイス&スピーチ講師術を修得。ヴォイス学修士取得。桐朋学園芸術短期大学や演劇集団円附属演劇研究所で教える。2003年から3年間に渡って3週間のWS「showcaseを目的とした声と言葉のトレーニング」（助成：財団法人セゾン文化財団）を主催する。



和田 喜夫

Yoshio Wada >> A・F・G

三島由紀夫の浪漫劇場養成所を経て、早稲田大学在学中より演出を始める。'82年から11年間劇作家岸田理生との共同作業を続ける。'92年オーストラリアのアデレード・バース国際演劇祭で『糸地獄』を上演し絶賛を得る。近年はオーストラリアやカナダなど各地の先住民の劇作家・アーティストとの共同作業を数多く手掛ける。横浜では現代美術館前での野外劇、横浜夢座第1回公演の演出など。代表作に『糸地獄』（岸田事務所+楽天団）、野外劇『丹下左膳'99』（椿組）、『居留地姉妹』（楽天団）など。日本演出者協会理事。演劇企画集団・楽天団代表。